

I S H I N P R E S S

橋下徹
大阪維新の会代表



One Osaka!

大阪維新プレス

2011秋 大阪市政特集号

発行元 大阪維新の会 〒542-0082 大阪市中央区島之内1-17-16 三栄長堀ビル2F
Tel.06-6120-5581 Fax.06-6120-5582 http://oneosaka.jp

みなさんと共に

維新の挑戦!

大阪維新の会 幹事長

松井一郎

● 大阪府議会議員
● 昭和39年1月31日生まれ **47**歳



大阪維新の会 代表

橋下徹

● 前大阪府知事
● 昭和44年6月29日生まれ **42**歳



挑戦! 敬老パスはなくしません!

まず、街で一番の問題意識になっている、大阪維新の会が交通局を民営化することにより敬老パスの福祉がなくなるのでは?との問いに対して、我々は「敬老パスは維持する」と訴えます。その理由として、敬老パスは大阪市の福祉の予算で年間80億円が交通局に支払われているのが現状で、交通局が民営化になったとしても福祉の予算はなんら変わらないのです。福祉の予算としてこれからも継続して行くなれば、交通局だけにしか利用出来ないものよりも、私鉄を含む他の交通機関へのサービス拡張や、交通費を必要としない方への還元を図っていくことも検討すべきであると考えます。

挑戦! 地域コミュニティを守ります!

つぎに、橋下市政がマスコミに多く取り上げられている言葉に「大阪市をつぶす」とありますが、正しくは「大阪市役所の組織の解体」を目指すのです。縦割り行政により町会に降りてくる役割が増え、地域コミュニティは後継者不足に頭を抱えています。その現状を打破するために、各区役所の組織を充実させ、区の特徴にあった町会運営が出来るよう補助を行う方針としています。もちろん、現状の町会等の地域団体を変えることはなく、地域主体の活動を支援するのが目的です。

挑戦! 市役所から財源/権限を取り戻します!

地域コミュニティを守り、自分たちの街のことは自分たちで決める形をつくる。現状の窓口業務しか出来ず、ガードレールひとつ直す力の無い区役所から住民自治のための区役所にします。全てを市役所のある中ノ島から各区に同じように降りてくる指示を待つのではなく、たとえば道路の補修から図書館の整備までを一番身近な区役所で、優先順位から予算まで決定出来る仕組みを構築します。今までにはない開かれた行政を実現するために、もちろん区長は選挙で選び住民の声が届きやすい状態にします。維新の会が行った区区会議では傍聴席の市民が立ち上がり「今まではこのような意見言う場が無かった、これからの区政はこうあるべきだ」と維新が提案する新しい大阪に賛成を唱える声があがっています。

挑戦! 民間でできることは民間に!

交通局などは民間が運営することで、高すぎる行政コストを下げる事ができます。さらに、市営地下鉄を大阪市外に延伸することや私鉄との相互乗り入れなどサービスが確実に向上します。その他、多すぎる市役所の事業を民間でできることは民間に任せることで、行政コストの引き下げはもちろんのこと、民間の経済活動を促進します。それにより、大阪経済の活性化に繋げることが出来ます。

挑戦! しがらみある政治からの脱却!

大阪市役所の根っこである外郭団体、まだまだある市役所OBの天下り、ヤミ専従等しがらみだらけの組織を解体し、既得権益から本来の市民のために税金を使える仕組みに変えます。これを頑なに拒み組織を守ることは民意を反映していない証拠だと考えます。大阪維新の会は市民の利益を第一優先とし、現在の労働組合を守る組織やトップを変えたとともに、市民の信託にこたえるため、現状の市役所組織と議会のなれ合いを正していきます。我々は、現状の政策意思の違う会派が談合し、何も決められない形ばかりの議会運営を変えて行く決意です。

平松市長が守っているのは市の労働組合です。市民の皆さんにはありません。